

緑が丘だより



真岡中



教育目標

- 1 自ら学ぶ生徒
- 2 心豊かな生徒
- 3 たくましい生徒

校長室から

3年生にとって最後の夏の総体、修学旅行

今年度から春季各種大会が廃止され、総合体育大会に一本化されたことに伴い、郡市総体も例年より早めの実施となりました。会期に余裕を持つことによる熱中症対策等が主な要因です。まだ月末に郡市陸上大会が控えておりますが、今年も多く部の活動が郡大会を勝ち抜き、県大会に出場することになりました。関東大会や全国大会を目指して頑張してほしいと思います。応援する中で全体的に技術の低下が見られると感じました。これは、コロナ禍での行動制限や部活動改革としてのガイドラインの徹底等によるものと思われそうですが、ある意味当然のことです。中学校の部活動の目的は、勝つことのみを目指すのではなく、体力や技能の向上を図る以外に友人や先生との好ましい人間関係づくり、学習意欲の向上、自己肯定感、責任感、連帯感の涵養など、生徒の自主的な学びの場としての教育的意義があるからです。全体的に活動時間が短くなっているのが主な要因ですが、それをカバーするのが生徒の自主性や団結心など強い精神力、たくましい心です。今回、これに勝てば県大会出場、というしびれる試合を勝ち抜いた部がいくつかあります。この気持ちの強さは部活動だけでなく、日常生活の中で培われるものだと思います。子供たちにはつらいけど乗り越えられる適切な負荷を与えることが重要なんだと実感させられました。



【選手壮行会の様子】

6月18日～20日に、3年生は奈良・京都への修学旅行に行っていました。梅雨の時期にもかかわらず奇跡的に三日間とも天気に恵まれた旅行となりました。事前指導で私が生徒に話をしたのは、特に「周りを考えて行動する」ことです。楽しい旅行にするために、自分だけでなく周りの人全員が楽しめる修学旅行にしましょうとお願いしました。東大寺の大仏や宇治の平等院など、写真や十円玉でしか見たことのない風景に圧倒されました。特に二日目の班別行動は生徒たちだけで行動するわけですから、問題が起きて自分たちで解決しなければなりません。正直、何班かは助けを求めに戻ってくるかもしれないと思っていましたが、全ての班が自力で宿に戻ってきました。生徒たちの成長を感じた修学旅行でした。



【東大寺にて】